

概要版

第3次

熊本市環境総合計画

～未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市～

熊本市

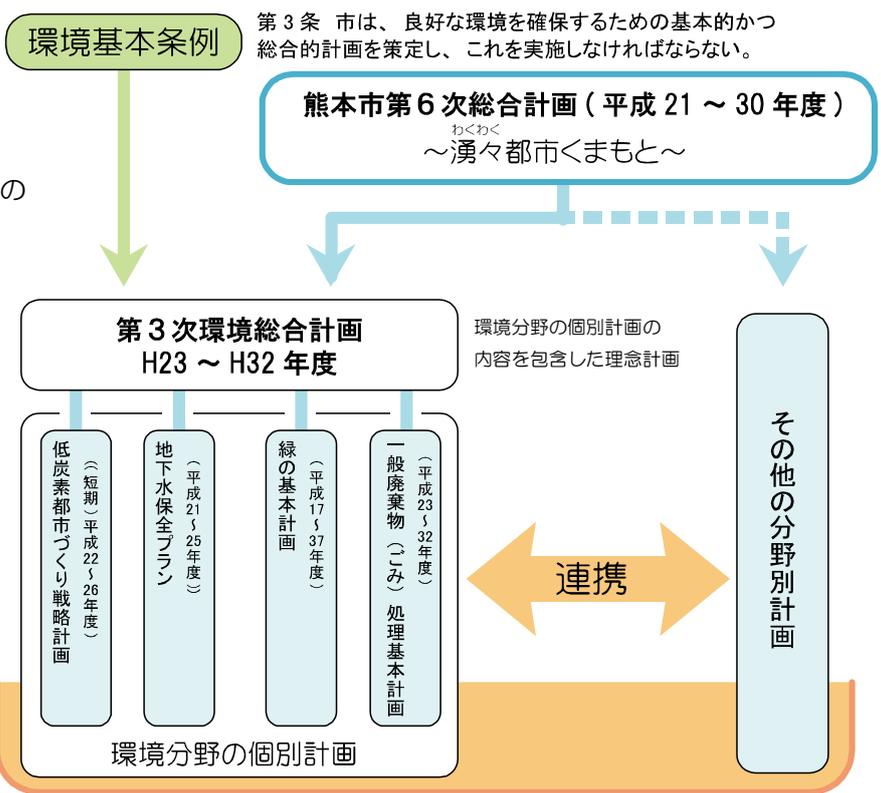
I 計画の基本的な考え方

○環境総合計画とは
環境分野の長期的な方向性及び目標を示すとともに、市民・市民活動団体・事業者・市のそれぞれに求められる役割と取り組みの方向を明らかにする計画

○本計画における環境の範囲
*市民が健康で文化的かつ快適な生活を営むことができる生活環境、自然環境
*本市の財産である豊かな自然環境に育まれた歴史的・文化的環境
*すべての人類が直面する課題である地球環境

○計画期間
平成23年度～平成32年度までの10年間（5年後に見直し）

■計画の位置づけ（体系図）



II 本市の環境の現状と課題及び今後の方向性

平成13年策定の第2次環境総合計画における3つの長期目標に対する取り組みの実施状況から、本市の環境の現状と課題及び今後の方向性について検証しました。

第2次環境総合計画の長期目標

自然と共生する
風格ある
「森の都」をつくる

環境負荷の少ない
循環型の社会を
つくる

地球市民を育て
すべての者の参加
と協働を実現する

今後の方向性



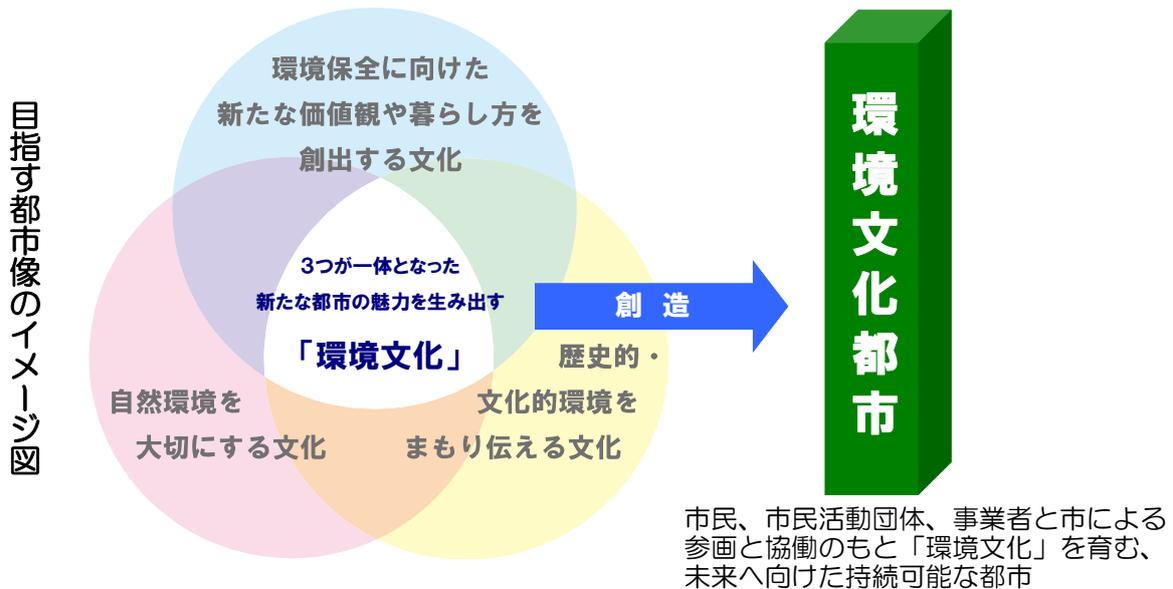
III 計画の基本理念

1 計画の目指す都市像

市民、市民活動団体、事業者そして市が、協働で本市の良好な環境の保全と創造に取り組む際の目指すべき方向を、誰もがわかりやすい都市イメージとして共有できるよう、「目指す都市像」として設定します。

～第3次熊本市環境総合計画における目指す都市像～

未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市



2 基本理念 ～進むべき方向～

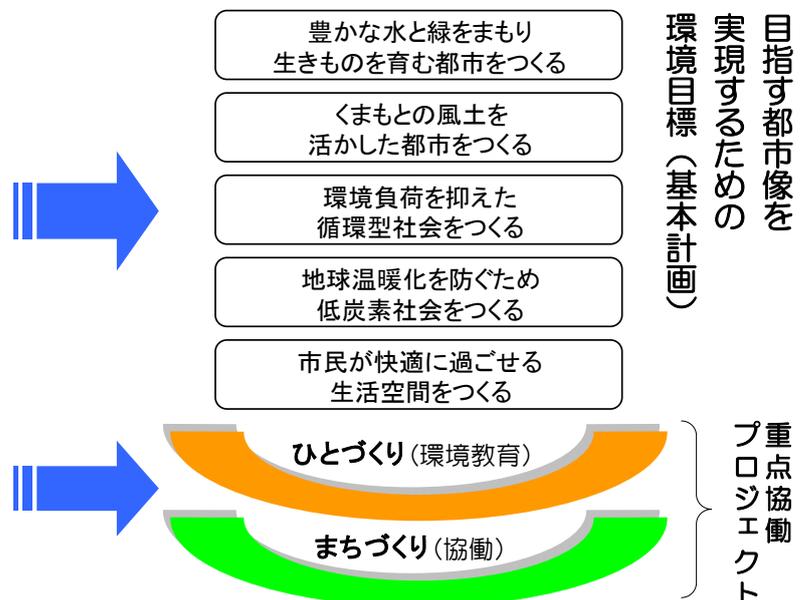
目指す都市像を実現するため、第2次環境総合計画の検証の結果や、世界の環境問題や社会経済情勢などの考慮すべき課題を整理し、総合的視点で今後の方向性を「5つの基本理念」としてまとめました。

1. 豊かな自然と文化の保全と活用
2. 環境の変化への対応と適応
3. 環境負荷の少ない社会の変化に応じた都市づくり
4. 環境と経済・社会の調和
5. 環境文化都市を推進するひとづくり・まちづくり

3 計画の環境目標(基本計画)と重点協働プロジェクト

目指す都市像の実現に向けた具体的な方向性を示すものとして、5つの環境目標を設定し、総合的・体系的に施策を展開します。

また、個々の環境目標に対する取り組みを有機的に連携させる仕組みとして環境教育によるひとづくり、協働によるまちづくりの2つを重点協働プロジェクトと位置づけています。



IV 基本計画

1 基本計画体系

本基本計画は、以下のとおり、環境目標・中目標・小目標で構成しています。

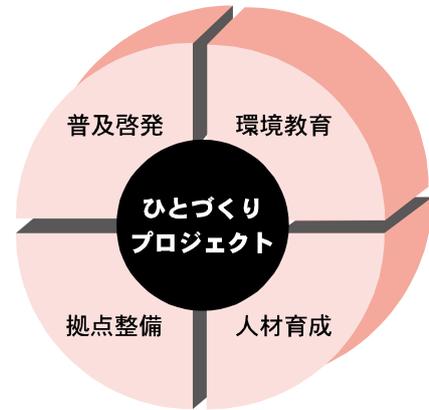
	環境目標	中目標
1	豊かな水と緑をまもり 生きものを育む都市を つくる	1-1 恵み豊かなくまもとの地下水をまもる
		1-2 自然豊かな「森の都」をまもり、育てる
		1-3 人と生きもののつながりについて学び、まもる
2	くまもとの風土を 活かした都市をつくる	2-1 歴史文化をまもり、育てる
		2-2 魅力ある都市空間をつくる
3	環境負荷を抑えた 循環型社会をつくる	3-1 ごみを減らし、資源循環のまちをつくる
4	地球温暖化を防ぐため 低炭素社会をつくる	4-1 地域から地球温暖化の防止に貢献する
5	市民が快適に過ごせる 生活空間をつくる	5-1 心地よい生活空間をつくり、安全・安心な暮らしを まもる

小目標	取り組み
1-1-1 豊かな地下水をまもる	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水かん養の促進 ・ 節水対策 ・地下水量の監視
1-1-2 清らかな地下水をまもる	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等に基づく地下水汚染の未然防止対策 ・地下水質の監視 ・ 地下水の水質改善対策
1-1-3 広域的な連携を進め情報を発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携による地下水保全
1-2-1 緑をまもる	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の保全 ・緑の啓発
1-2-2 新たな緑をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな緑の創出
1-3-1 自然とのふれあいを進める	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や生物多様性について学ぶ
1-3-2 生きものを育む自然環境をまもる	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や生物多様性をまもる
2-1-1 歴史的文化遺産等を保護し、継承する	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡等文化財の保全と整備 ・熊本城を往時の姿に復元整備する
2-1-2 環境資源等を活かした産業を育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化を活かした観光の振興を図る ・環境と調和した産業を支援する
2-2-1 自然や歴史を活かした都市景観をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性に即した都市景観の保全、育成、創造
2-2-2 市民の憩いの場となる公園を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の憩いの場である公園整備と維持管理
2-2-3 安全で快適な道路環境を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・道路網の構築と、安全で快適な道路の実現
2-2-4 事前配慮の仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な居住環境の形成 ・環境配慮の仕組みをつくる
3-1-1 ごみの減量とリサイクルを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量・リサイクルへの積極的な参画と協働の推進 ・3Rの推進によるごみ減量・リサイクルの推進
3-1-2 適正なごみ処理を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・適正かつ環境に配慮したごみ処理体制の確立 ・産業廃棄物の適正な処理
4-1-1 省エネルギー・創エネルギーを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・世界に誇る地下水都市の形成 ・ 豊かな緑に恵まれた森の都の再生 ・ 再生可能エネルギーの導入促進 ・エネルギーの効率的な利用 ・ 環境に配慮した農水産業の振興
4-1-2 環境にやさしい交通を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地と地域拠点が相互に連携した都市構造の形成 ・徒歩や自転車移動しやすいまちづくり ・自動車交通における化石燃料消費の抑制
4-1-3 低炭素型ライフスタイルを実践する	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境に配慮する心を育む環境教育等の推進 ・日常生活における一人ひとりの低炭素社会づくり実践活動の推進 ・環境保全活動と経済活動の両立 ・ 環境に配慮した事業活動の推進
4-1-4 資源を有効に活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの発生抑制とリユース・リサイクルの推進 ・廃棄物等のエネルギーや資源としての徹底的な活用
5-1-1 さわやかな大気をまもる	<ul style="list-style-type: none"> ・大気環境の監視と適切な対策
5-1-2 騒音・振動のないまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音・振動の未然防止と適切な指導
5-1-3 河川や海の水質をまもる	<ul style="list-style-type: none"> ・公共用水域の水質の保全 ・ 汚水処理施設の整備
5-1-4 有害化学物質による汚染を防ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・有害化学物質に関する状況把握と適切な対策
5-1-5 安全・安心な暮らしをまもるため体制を整える	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な生活衛生の確保と危機管理体制の整備
5-1-6 安全・安心な暮らしをまもるため調査研究し情報を発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究体制の整備と正しい情報の普及啓発

ひとつづくりプロジェクト

～ 環境教育 ～

プロジェクト構成図



目標

☆楽しみながら環境行動を実践するひとつづくり

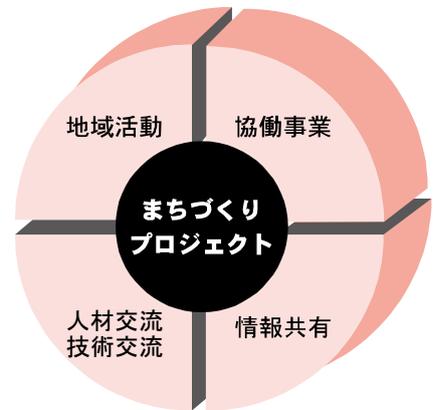
環境保全行動を、自主的・自発的に楽しみながら実践できる人材を育成するため、環境教育の機会の拡充と内容の充実を図ります。

	新しい価値観の提案・啓発	ライフステージ別環境教育の推進	地域別環境教育の推進	環境保全活動のけん引役の育成	環境学習拠点の整備
市民	<ul style="list-style-type: none"> 市や市民活動団体、事業者などが行う学習会、啓発イベントに参加し、環境保全意識を高めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や職場、家庭、地域において積極的に環境に対する知識を習得します。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域環境特性や状況の把握と理解に努め、地域の環境保全について考える機会をつくります。 	<ul style="list-style-type: none"> エコリーダーとなって活動できるよう、積極的に学習会等に参加し、環境保全活動を実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習拠点を利用して、環境に関する情報を取得するよう努めます。
市民活動団体	<ul style="list-style-type: none"> 環境意識を醸成する学習会、啓発イベントを開催し、市民や事業者に対し新たなライフスタイルを提案します。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する学習機会を提供する際は、対象者を明確にしたプログラムを構築します。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域環境特性や状況の把握と理解に努め、市や市民、事業者に対しその情報を提供するとともに、学習する機会をつくります。 	<ul style="list-style-type: none"> エコリーダーの育成に協力し、地域とともに環境保全活動を実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の中で得た環境に関する情報について、市民や事業者、市に対し積極的に提供するとともに、地域の環境学習の機会や拠点となる場の提供を検討します。
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動の中で、市民や市民活動団体などに対し環境保全のための学習機会を提供します。 従業員に対し環境保全に関する研修を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する学習機会を提供する際は、対象者を明確にしたプログラムを構築します。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が所在する地域環境特性や状況の把握と理解に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> CSR(企業の社会的責任)の実践として、エコリーダーの育成に協力し、地域とともに環境保全活動を実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動の中で得た環境に関する情報について、市民や市に対し積極的に提供するとともに、地域の環境学習の機会や拠点となる場の提供を検討します。
市	<ul style="list-style-type: none"> 目的別の学習機会の拡充を図ります。 市民活動団体、事業者や市が実施する学習機会を市民に紹介し、市民の環境学習を促します。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の環境学習機会の情報を収集、整理し、ライフステージ毎の環境学習機会を整備します。 特に幼少期や、学校教育における環境学習の機会を拡充します。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民や市民活動団体、事業者から地域の環境情報を収集し、整理した情報を地域に還元します。 	<ul style="list-style-type: none"> エコリーダーとなる人材育成のための事業を実施し、様々な主体の環境保全活動の実践を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する情報の収集と整理を行い、市民や市民活動団体、事業者に提供するための拠点の整備を行います。

まちづくりプロジェクト

～ 協 働 ～

プロジェクト構成図



目標

☆環境と調和した活力あふれるまちづくり

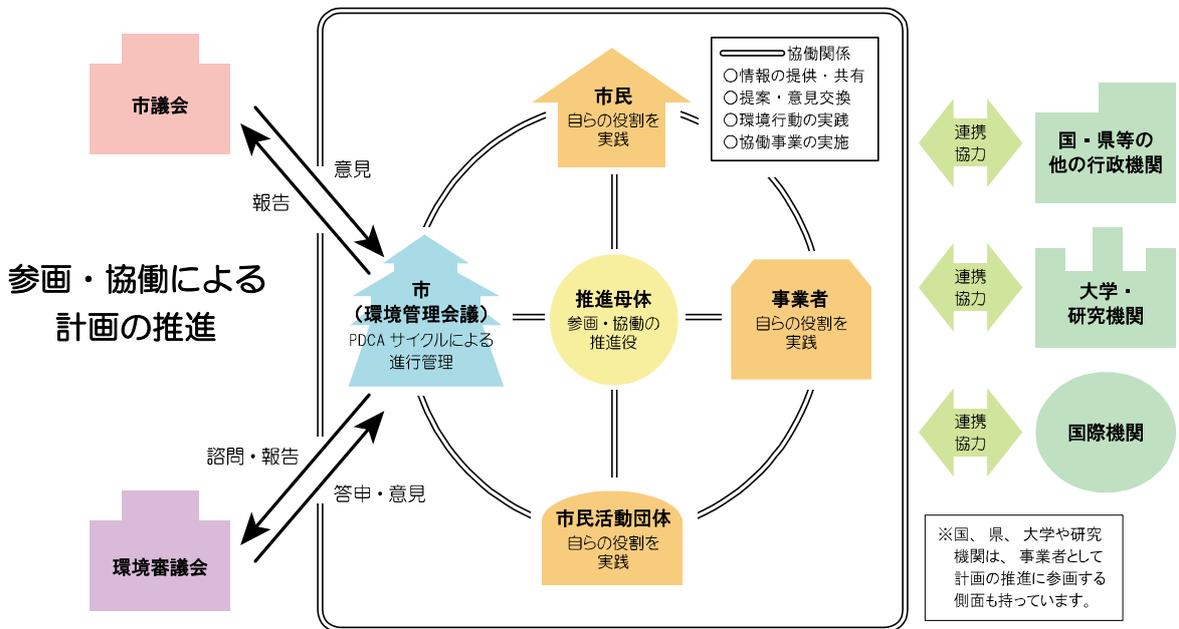
市民・市民活動団体・事業者・市の各主体が、環境保全活動を活発に行えるよう、相互に連携する機会を創出し、協働の取り組みを促進します。

環境保全活動の支援	環境保全活動の促進	情報交換・連携の場の形成	データベースの作成	国内外における人材・情報交流の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・エコリーダー等を活用して、行政区や校区での環境保全活動を推進するための取り組みを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区や校区の環境を保全するために必要な取り組みについては、市民活動団体、事業者や市の協力を得ながら市民自らの手で実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境総合計画の推進母体となる市民活動団体の活動に積極的に参加し、その活動を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ポータルサイトを利用して、環境に関する情報を取得するとともに、自ら地域の環境情報の提供に努め、他者と連携して環境保全活動を実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な環境情報に触れることによって、環境問題に対する知識と視野を広げます。 ・国内外の他都市の市民や市民活動団体と環境保全活動の輪を広げます。
<ul style="list-style-type: none"> ・行政区や校区で環境保全活動が行えるよう、情報の提供やエコリーダーの派遣を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区や校区の環境を保全するために必要な取り組みの中で、自ら担うことが出来る事業を市民や事業者、市と協力して実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境総合計画を推進する団体として、市民や事業者、市に対し環境保全活動を提案するとともに、様々な活動主体と有機的な連携を図りながら協働による環境保全活動を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ポータルサイトを市と協働で作成、運営し、環境に関する情報を市民や事業者、市に提供するとともに、他者と連携して環境保全活動を実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な環境情報に触れることによって、環境問題に対する知識と視野を広げます。 ・国内外の他都市の市民や市民活動団体、事業者と環境保全活動の輪を広げます。
<ul style="list-style-type: none"> ・CSR(企業の社会的責任)の実践として、事業所が所在する行政区や校区での環境保全活動に参加します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区や校区の環境を保全するために必要な取り組みについて、市民や市民活動団体に協力して取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境総合計画の推進母体となる市民団体の活動に積極的に参加し、その活動を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ポータルサイトを利用して、環境に関する情報を取得するとともに、自ら地域の環境情報の提供に努め、他者と連携して環境保全活動を実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な環境情報に触れることによって、環境問題に対する知識と視野を広げます。 ・国内外の他都市の事業者や市民活動団体と環境保全活動の輪を広げます。
<ul style="list-style-type: none"> ・行政区や校区で環境保全活動が行えるよう、情報提供やエコリーダーを派遣する制度をつくりまします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や市民活動団体、事業者が自ら行政区や校区の環境を保全するための取り組みを行いやすいよう、支援する仕組みを作ります。 ・地球温暖化防止のための環境保全活動を推進するため、地球温暖化防止活動推進センターの指定や、熊本県地球温暖化防止活動推進センター、EPO九州などの関係機関と連携・協力を図っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境総合計画に定めたプロジェクトを推進するため、市民活動団体と協働で市民や事業者に対し環境保全活動の実践を働きかけるとともに、様々な活動主体と有機的な連携を図ることが出来る体制を整えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ポータルサイトを市民活動団体と協働で作成、運営し、市民や市民活動団体、事業者との連携による環境保全活動の実践を促します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な環境情報を収集・発信し、市民や市民活動団体、事業者への情報提供に努めます。また、収集した情報は、本市の環境施策の推進に役立てます。 ・他都市の環境に関する先進事例を学び、人材交流、技術交流を行いながら、市民や市民活動団体、事業者の他都市との連携を支援します。

基本計画	環境目標	成果指標	現況値 (H21)	目標値 (H32)
	全体目標	良好な環境が守られていると感じる市民の割合	66.1%	75.0%
	豊かな水と緑をまもり 生きものを育む都市をつくる	地下水が市民共有の財産として守られていると感じる市民の割合	51.9%	70.0%
		街なかに緑が多いと感じる市民の割合	69.9%	82.0%
		生物多様性について知っている市民の割合	(新規)	増加
	くまもとの風土を 活かした都市をつくる	過去1年間に歴史的文化遺産に触れた市民の割合	49.8%	62.0%
		街並みが美しいと感じる市民の割合	47.3%	57.0%
		良好な居住環境が保たれていると感じる市民の割合	57.5%	65.0%
	環境負荷を抑えた 循環型社会をつくる	市民1人1日当たりのごみ排出量(集団回収除く)	1,037g	881g
家庭ごみのリサイクル率		16.5%	30.0%	
地球温暖化を防ぐため 低炭素社会をつくる	温室効果ガス削減率(H19比)	△5.0% (H20)	△24.0%	
市民が快適に過ごせる 生活空間をつくる	大気環境基準達成率	80.8%	現状維持	
重点協働 プロジェクト	ひとつづくり	日常生活で環境保全のための実践活動をしている市民の割合	51.5%	70%
		環境について学ぶ機会が増えてきたと感じる市民の割合	(新規)	増加
	まちづくり	地域の環境保全活動に参加している市民の割合	(新規)	増加
		環境保全に係わるまちづくりの活動が増えてきたと感じる市民の割合	(新規)	増加

V 推進体制

市民・市民活動団体・事業者・市の各主体は、環境保全のための自らの役割を行いながら、協働して効果的に計画を推進していく体制を整備します。



第3次熊本市環境総合計画
 お問い合わせ先 熊本市環境保全局環境保全部環境企画課
 TEL(096)328-2427 FAX(096)359-9945 kankyokikaku@city.kumamoto.lg.jp